

事務事業名	汗かき農園維持管理事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6033									
			所属課室	農林振興課		課長名	野田栄志									
	☐ 実施計画事業		所属担当	農政計画担当		担当者名	伊藤喜久夫									
基本政策	基本計画体系	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		07 農林水産業の振興	事業区分	01	一般	0	6	0	1	0	3	0	8	0	0	5
施策	12 生産を支える基盤の整備充実			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業												
				☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業												
				☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業												
				☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠	市民農園整備促進法 南アルプス市汗かき農園条例												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	・非農業者に農地を提供(賃貸)し、栽培体験を通して農業への理解を深めてもらい、併せて遊休農地の有効活用を目的に汗かき農園(市民農園:72区画(25㎡～50㎡))を開設し区画貸し出しと施設の維持管理を行う。 ・契約期間は、4月～3月(年間)とするが、半年使用契約も可能 ・利用料は、1㎡当り400円/年、半年契約の場合は、1㎡当り200円			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)						
				消耗品費		4		不動産賃借料		286						
				光熱水費		12		その他負担金		72						
				修繕費		40										
				手数料		174										
				施設維持管理委託		28		計		616						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	広報等により利用者の募集を行う
23年度活動予定	広報等により利用者の募集を行う
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
非農業者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
農業体験を通して、農業への興味を持ってもらう	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
遊休農地化の防止	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用人数	人
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 非農家数	戸
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用区画数	区画
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 遊休農地を借りた面積	㎡
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	586	702	571	571	571	571	
			一般財源	千円	365	0	332	308	308	308	
	事業費計 (A)			千円	951	702	903	879	879	879	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	240	240	
		人件費計 (B)	千円	1,071	1,071	951	951	951	951	951	0
		(A)+(B)			千円	2,022	1,773	1,854	1,830	1,830	1,830
活動指標		アイウ	人	36.0	38.0	36.0	36.0	36.0	36.0		
対象指標		アイウ	戸	18,915.0	18,915.0	18,915.0	18,915.0	18,915.0	18,915.0		
成果指標		アイウ	区画	45.0	55.0	52.0	52.0	52.0	52.0		
上位成果指標		アイ	㎡	41,386.0	46,263.0	33,256.0	33,256.0	33,256.0	33,256.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧白根町が平成6年3月から百々地区に開設し、遊休農地の解消を図った。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	特に大きな変化は無し
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	指定管理者制度の導入への取組み 借地料の見直し
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	経費軽減に努めた(マルチを設置し防草を図る)

事務事業名	汗かき農園維持管理事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 遊休農地を活用し農業体験施設として市民に利用してもらい農業への理解を図る事業であり施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 農地の流動化には農地法及び関係法の規制があるため公共関与は妥当である
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 対象を非農家とし、農業への理解と関心を図ると共に遊休農地の解消を目的としているため適切である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 非農家を対象とし土に親しんでもらうことが目的であり農家を育成する事業ではないため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 汗かき農園を利用している市民は農地を取得することが出来ない事情があり(農地法)、また幼稚園の体験学習の場として利用されていることから休止・廃止は難しいと思われる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 経費の軽減に努め必要最小限の予算計上をしておりこれ以上は難しい
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 指定管理者制度の導入も考えられるが、事務量はそんなに多くないため指定管理にするとかえって事務の煩雑と委託経費が増えることが予想されるため、現状の直営での管理が適当と考える
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 農業基盤の整備として遊休農地対策を行っているため。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	市民の皆さんに農業体験をしてもらい農業を理解してもらう施設として、適正な管理を行い有効活用を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					